

2024 年度
法政大学大学院
政策創造研究科

入学試験要項

修士課程・博士後期課程

目 次

1	受験生の皆さんへ	1
2	入学試験について	1
3	出願までのフローチャート	2
4	募集人員	4
5	入学試験に関する各種日程	4
6	指導教員とプログラムについて	6
7	個人情報の取り扱いについて	6
8	修士課程入試要項	7
9	博士後期課程入試要項	11
10	個別の入学資格審査について	15
11	検定料・学費・奨学金等について	17
12	コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法	20
13	金融機関（窓口・ATM・インターネットバンキング）での入学検定料支払方法	21

提出書類の様式 1～5

1 受験生の皆さんへ

法政大学大学院政策創造研究科は、2008年4月からスタートした大学院です。本研究科では、学部組織を持たない独立大学院ならではの多様かつ柔軟なカリキュラムのもと、修士課程と博士後期課程の2つの課程を同時に開設しています。本研究科には次のような特徴があります。

- 政策づくり、地域(都市)づくり、産業創出を担う高度専門職業人の育成を目指しています。
- ・3分野(経済・社会・雇用創造群、文化・都市・観光創造群、地域産業・企業創造群)にわたる9つのプログラム(地域・消費生活プログラム、雇用・人材育成・キャリアプログラム、地域ウェルビーイングプログラム、都市空間・まちづくりプログラム、都市文化プログラム、観光メディアプログラム、イノベーション・地方創生プログラム、企業経営革新プログラム、ESG・サステナビリティ経営プログラム)の中から総合的、具体的に学ぶことにより、課題解決のための創造的な発想が得られ、政策センス、政策スキル、グローバルに広がる知識、そして政策創造力が磨かれることとなります。
- ・現在働いている方々にとって、仕事と学業との両立ができるように交通至便な都心の市ヶ谷キャンパスで平日夜間と土曜日に授業を開講します。入学時には長期履修制度の選択も可能です。
- ・政策の現場に明るい教員により、修了まで親身なガイダンスや指導が受けられます。

さあ、皆さんも政策創造のフロンティアと一緒に挑んでみませんか。奮ってのご応募をお待ちしています。

2024 法政大学大学院政策創造研究科パンフレットもご活用ください。(2023年7月上旬より公開)

2 入学試験について

法政大学大学院政策創造研究科は、受験生が無理なく入学試験を受けることができるように1年間に複数回の受験機会を用意しています。試験方法は一般入試・社会人A0入試の2つに分かれます。入試を受ける場合は修士課程のみ、一般入試・社会人A0入試どちらも出願前に研究科ディレクター等との事前面談が済んでいる事が前提となります。出願の流れについては次頁の「出願までのフローチャート」をご参照ください。

<社会人A0入試>

社会人経験3年以上の方を対象とした入学試験です。研究計画書や職務・活動等報告書等の書類審査および面接試験の結果を総合的に判断(博士後期課程においては受験論文も重視)し可否を判定します。

※過去問はありません。

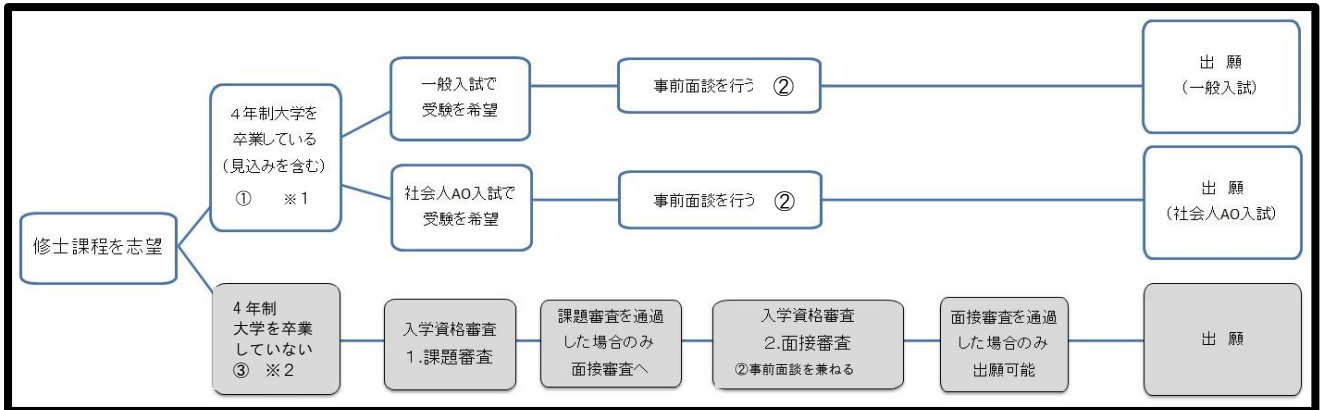
<一般入試>

日本国内外の大学の在学学生や卒業生で社会人経験が3年未満の方を対象とした入学試験です。学業成績や研究計画書等の書類審査および面接試験の結果を総合的に判断(博士後期課程においては受験論文も重視)し可否を判定します。修士課程のみ、筆記試験を課します。

※過去問はありません。

3 出願までのフローチャート

■修士課程



※1 学士以上の学位あり（見込みの場合は取得が可能であること）

※2 学士以上の学位なし

■フローチャートの解説

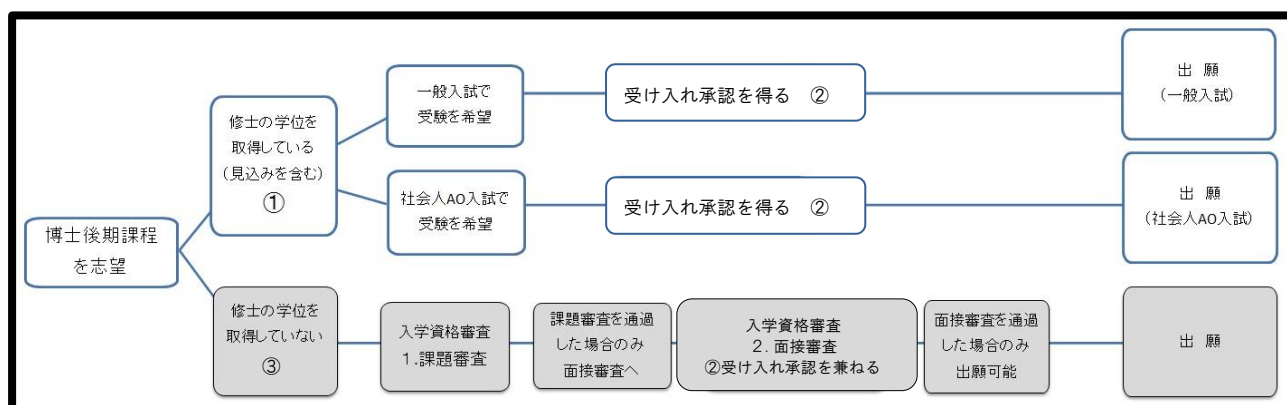
①4年制大学を卒業している場合、もしくは2024年3月末までに4年制大学（学士以上の学位取得）を卒業見込みの場合は、受験資格（社会人経験の年数および年齢）により一般入試か社会人AO入試を受験することができます。

②当研究科教員（研究科ディレクター等）との事前面談を行います。事前面談は、出願書類をもとに入学後に行う研究内容の相違を防ぐために行うものです。事前面談を行った方のみ修士課程に出願することができます。事前面談実施期限については、p.4を参照してください。

③4年制大学を卒業していない場合（学士以上の学位取得がない場合を含む）、入学資格審査を受ける必要があります。入学資格審査では、課題審査と面接審査を行います。課題審査では研究業績等の専門（研究テーマ）に関するレポート（8,000字以上）を提出していただき研究科にて審査します。

「入学資格審査申請書」等と一緒に課題審査のレポートを期日までにご提出ください。課題審査の結果を後日、ご連絡します。課題審査を通過した場合は、事前面談を兼ねた面接審査を行います。指定の日時・場所にて面接を受けてください。面接審査の結果についても後日、ご連絡します。面接審査を通過した場合は、修士課程に出願することができます。（詳細についてはp.15-16を参照。）

■博士後期課程



■フローチャートの解説

- ①修士の学位を取得している場合は、もしくは2024年3月末までに修士の学位を取得見込みの場合、受験資格（社会人経験年数）により一般入試か社会人AO入試を受験することができます。
- ②p. 6 に記載の博士後期課程の研究指導教員のうち、研究指導を希望する教員に事前に受け入れ承認を得る必要があります。
- ③修士の学位を取得していない場合、入学資格審査を受ける必要があります。入学資格審査では、課題審査と面接審査を行います。課題審査では修士論文に相当する学術論文を提出していただき研究科にて審査します。
「入学資格審査申請書」等と一緒に課題審査の論文を期日までにご提出ください。課題審査の結果を後日、ご連絡します。課題審査を通過した場合は、受け入れ承認を兼ねた面接審査を行います。指定の日時・場所にて面接を受けてください。面接審査の結果についても後日、ご連絡します。面接審査を通過した場合は、博士後期課程に出願することができます。（詳細についてはp. 15-16を参照。）

4 募集人員

研究科名	専攻名	修士課程	博士後期課程
政策創造研究科	政策創造専攻	一般入試 社会人 AO 入試	10 名程度
} 50 名程度			

5 入学試験に関する各種日程

■入学試験に関する各種日程（修士課程および博士後期課程、一般・社会人 AO 入試共通）

※提出書類は郵送のみ受け付けます。窓口への持参は認められませんので、時間に余裕を持って準備してください。

※【修士課程のみ】事前面談申し込み前に下記の書類をご準備ください。

一般入試 : 研究計画書（様式 3）

社会人 AO 入試 : 研究計画書（様式 3）・職務・活動等報告書（様式 5）

※博士課程の方は事前面談ではなく指導教員の受け入れ承認が必要となります。p. 11 を参照ください。

入試実施回	入学資格審査 申請期限 <該当者のみ>	事前面談実施期限	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
注意点	書類提出期限は 締切日 消印有効 です。	申込期限までに大学 院課政策創造研究科 HP より申し込みし てください。 面談の日程調整を 行います。	出願書類は 締切日 消印有効 です。	受験票 持参のこと (試験日 1 週間 前を目安に E-mail で送付 します。)	Web 上で 発表します。 合格者には入 学手続書類を 送付します。	入学手続書類は 締切日 消印有効 です。
第 1 回	5 月 26 日 (金)	【実施期限】 6 月 13 日 (火) 【申込期間】 5 月 19 日 (金) ～6 月 8 日 (木)	6 月 21 日 (水) ～6 月 27 日 (火)	筆記 7 月 15 日 (土) 面接 7 月 16 日 (日)	7 月 19 日 (水)	7 月 19 日 (水) ～7 月 25 日 (火)
第 2 回	9 月 22 日 (金)	【実施期限】 10 月 7 日 (土) 【申込期間】 9 月 15 日 (金) ～10 月 4 日 (水)	10 月 16 日 (月) ～10 月 21 日 (土)	筆記 11 月 11 日 (土) 面接 11 月 12 日 (日)	11 月 15 日 (水)	11 月 15 日 (水) ～11 月 21 日 (火)
第 3 回	12 月 15 日 (金)	【実施期限】 1 月 17 日 (水) 【申込期間】 12 月 1 日 (金) ～12 月 19 日 (火) 1 月 9 日 (火) ～1 月 12 日 (金)	1 月 24 日 (水) ～1 月 30 日 (火)	筆記 2 月 16 日 (金) 面接 2 月 17 日 (土)	2 月 21 日 (水)	2 月 21 日 (水) ～2 月 27 日 (火)

※筆記試験受験者の人数により、筆記試験と面接試験を同日に実施することもあります。

※筆記試験については、修士課程（一般入試）の受験生のみ実施します。

※中国の大学に入学し、卒業、ダブルディグリー取得、日本の大学への編入をした場合は事前面談の申し込み前に必ず CHSI から電子承認報告メールを法政大学に直送する申請をしてください。ただし、第 3 回入試を出願予定の場合は必ず 10 月までに申請してください。

こちらを参照 (<http://chiikizukuri.gr.jp/exam/>)

＜海外在住の外国籍志願者への注意＞

海外在住の外国籍志願者は、第1回～第2回入学試験を受験してください。

第3回入学試験を受験した場合、入学手続後から入学までの期間が短く、在留資格「留学」を4月入学前に取得し渡日することが困難です。

渡日が遅れると留学生用の奨学金や授業料減免の申請が出来ないなど、様々な不利益があります。

日本に在留している外国籍志願者は、第3回入学試験への出願が可能です。

6 指導教員とプログラムについて

■ 修士課程

指導教員を選択することにより、所属する創造群およびプログラムが決定されます。所属する創造群によりカリキュラムが異なります。カリキュラムについては、研究科パンフレットを参照してください。所属創造群・プログラム・指導教員の組み合わせは以下の通りとなります。

出願書類の様式2「入学志願票」等には、希望する指導教員名を記入してください。

所属創造群	プログラム名称	指導教員
経済・社会・雇用 創造群	地域・消費生活プログラム	柿野 成美 准教授
	雇用・人材育成・キャリアプログラム	石山 恒貴 教授
	地域ウェルビーイングプログラム	高尾 真紀子 教授
文化・都市・観光 創造群	都市空間・まちづくりプログラム	上山 肇 教授
	都市文化プログラム	増淵 敏之 教授
	観光メディアプログラム	北郷 裕美 教授
地域産業・企業 創造群	イノベーション・地方創生プログラム	橋本 正洋 教授
	企業経営革新プログラム	井上 善海 教授
	ESG・サステナビリティ経営プログラム	小方 信幸 教授

※教員は変更となる場合も有りますので、予めご了承ください。

■ 博士後期課程

博士後期課程の研究指導教員は、以下の予定です。

石山 恒貴 教授 、高尾 真紀子 教授 、上山 肇 教授 、増淵 敏之 教授

7 個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、「入学試験実施（志願者データ作成含む）」「合格発表」「入学手続」に関連する業務を行うために利用します。上記の業務は、その一部を法政大学が当該業務を委託した業者（受託業者）により行われる場合があります。個人情報は、受託業者に対しても適正な管理を行うようにいたしますので、あらかじめご了承ください。個人情報の管理等については、「法政大学個人情報保護規程」に基づき適切に取り扱います。

8 修士課程入試要項

【1】事前面談

修士課程に出願する方は全員、本研究科ディレクター等との事前面談 (Zoom) を受けていただきます。事前面談は、出願書類をもとに入学後に行う研究内容の相違を防ぐために行うものです。面談日程を調整するため、**事前面談申込期間内に**余裕を持って下記のホームページを通じて大学院課政策創造研究科担当に事前面談の申請を行ってください。

【修士課程入学希望者事前面談申込ホームページ】

https://www.hosei.ac.jp/gs/seisakusozo/m_jizenmendan/



事前面談実施期限までに面談を受けていない場合、直近で実施される試験を受けることはできません。また、年度内最後の試験に間に合わない場合には、次年度以降改めて事前面談から入試を受けていただきます。事前面談には日程調整が必要ですので、できる限り早い段階でご連絡ください。

出願書類を基に事前面談を行います。研究計画書等を事前に指定フォームより提出する必要があります。なお、**事前面談の時点では検定料の振込を行わないでください。検定料の振込は出願期間にお願いします。出願書類一式(紙)は出願期間に郵送する必要があります。**

【2】受験資格

区分	一般入試	社会人 A0 入試
条件	以下 1～9 のいずれかに該当する者。日本国以外の国籍を有する者(外国籍志願者)は前述に加え「日本語能力試験 N1」を取得している者、もしくは日本における日本語による学士以上の課程を修了した者(2024年3月卒業見込みの者含む)。	以下 1～9 のいずれかに該当し、2024年4月1日現在で、社会人経験3年以上を有し、25歳以上に達した者。日本国以外の国籍を有する者(外国籍志願者)は前述に加え「日本語能力試験 N1」を取得している者、もしくは日本における日本語による学士以上の課程を修了した者。
1	大学を卒業した者、又は2024年3月末までに大学卒業見込みの者(※1)	
2	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2024年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者(※2)	
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2024年3月末までに修了見込みの者(※3)	
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2024年3月末までに修了見込みの者(※4)	
5	我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2024年3月末までに修了見込みの者(※5)	
6	外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2024年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者(※6)	
7	専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(2024年3月末までに修了見込みの者も含む)(※7)	
8	文部科学大臣の指定した者(※8)	
9	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者(※9)	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(※9)

- ※1 「大学」とは日本国内の大学を指します。
- ※2 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1ヶ月前までに大学院課政策創造研究科担当へお問い合わせください。
- ※3 学士学位を取得（2024年3月末までに取得見込みを含む）していない場合は該当しません。
- ※4 学士学位を取得（2024年3月末までに取得見込みを含む）していない場合は該当しません。
- ※5 文部科学大臣指定外国大学日本校を指します。対象となる学校は、文部科学省ホームページを参照してください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm
- ※6 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1ヶ月前までに大学院課政策創造研究科担当へお問い合わせください。
 - ・学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は該当しません。たとえば中国の3年制大学（専科大学・職業学院等）のみ卒業し学士学位を取得していない場合は該当しません。
 - ・「その他の外国の学校」とはその教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの、又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限りです。
 - ・「修業年限が3年以上である課程を修了する」方法には、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- ※7 対象となる専修学校の専門課程については、文部科学省ホームページを参照してください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm
- ※8 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1ヶ月前までに大学院課政策創造研究科担当へお問い合わせください。
- ※9 詳細はp.15「10 個別の入学資格審査について」を参照してください。
なお、22歳に達した者とは入学時（2024年4月）の年齢を指します。

【3】試験内容

区分	一般入試	社会人 A0 入試
試験	1. 筆記試験 2. 書類審査 3. 面接試験	1. 書類審査 2. 面接試験

【4】試験会場

市ヶ谷キャンパス

【5】出願手続

1. 出願書類はパソコンにて直接入力するか、もしくは黒サインペンまたはボールペン等（消せるボールペン不可）、消しゴムで消せないものを使用し楷書にて記入してください。
2. 入学検定料 35,000 円は**出願期間内**に納入してください。
コンビニエンスストアまたはクレジットカードで入学検定料を納入する場合は、p.20 をご参照ください。
金融機関（窓口・ATM・インターネットバンキング共通）で入学検定料を納入する場合は、p.21 をご参照ください。
※一旦納入された検定料は、事情の如何にかかわらず返還できませんのでご注意ください。
3. 提出書類は角型2号（240mm×332mm）の封筒に入れ、出願期間内に大学院課政策創造研究科担当まで簡易書留にて郵送してください。封筒表面（宛先）には、封筒表面データを印刷したものを貼付してください。
※提出された書類は返却できませんのでご注意ください（日本語能力試験 N1 取得証明書原本を除く）。
4. 出願は締切日消印有効とします（厳守）。出願締切日、もしくはその前日の消印となる場合は、速達簡易書留にて郵送してください。

5. 出願書類を受理し、処理が完了した段階で受験票を Email に添付してお送りします。併せて試験日当日の集合時間・場所をお知らせしますので、必ずご確認ください。
試験日の3日前になっても受験票が届かない場合は大学院課政策創造研究科担当までご連絡ください。
6. 受験資格について確認が必要な場合は、必ず出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までお問い合わせください。
7. 身体に障がいがあり、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までご相談ください。
8. 出願書類は次ページの通りです。提出書類のチェックシートは、該当箇所にチェックを入れて出願書類一式と同封の上、提出してください。証明書のコピー（自分で印刷したものを含む）は認められません（CHSI 証明書を除く）。原本を提出してください。
なお、卒業した学校の都合により証明書の再発行ができない場合は、以下の通りになしてください。
 - ・卒業証明書、成績証明書の原本をお持ちで、返送希望の場合
事前に大学院課政策創造研究科担当へ連絡の上、返送希望の旨を記載したメモと、返信先住所・氏名を明記した返送用封筒に郵送料分の切手を貼り付け同封してください。
 - ・保管期限により証明書が発行されない場合
卒業した学校に発行不可の証明書を発行してもらい、提出してください。
9. 複数の大学、大学院を卒業/修了(見込み)されている場合には、それぞれの「成績証明書」「修了証明書」をご提出してください。他大学で取得した単位の認定を受けた場合は、単位を修得した大学の証明書も提出してください。
中国の大学、大学院が含まれる場合は 11. を参照してください。
10. 住民票の提出について（外国籍志願者の方へ）
 - ・提出する「住民票」は在留資格および在留期間が明記されているもの（省略されていないもの）であり、さらに、マイナンバー（個人番号）が記入されていないものをご提出ください。
 - ・受験するためには、住民票に記載されている「在留期間満了の日」が入学試験日より後である必要があります。出願時に在留期間更新中の場合は「いま現在提出できる最新の住民票」と「在留カードの表・裏面のコピー（在留資格・期間更新中であることが分かるもの）」を両方提出してください。
 - ・日本に住所登録がある場合は、住民票の提出が必須です。在留カードのコピーでは受理できませんのでご注意ください。
 - ・日本に住所登録がない場合（短期滞在ビザでの入国等）は、各種様式のパスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ）を提出してください。
11. 中華人民共和国の教育機関出身の大学院志望の方は以下のとおり、CHSI（中国高等教育学生信息网もしくは中国学歴・学籍認証センター日本代理機構）から下記の2つの証明書（英文）の申請を事前面談の申し込みまでに行い、CHSI から法政大学に電子認証報告メールで直送してください。（p.4 入学試験に関する各種日程参照）※1～※4
 - ・成績証明書：CHSI が発行する「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」
 - ・学位取得証明書：CHSI が発行する「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」※1 CHSI からの証明書が出願期間に間に合わない場合は受験できません。
※2 第3回入試を出願予定の場合は、必ず10月末までにCHSIに申請してください。
※3 ダブルディグリー取得の場合も、中国の大学で取得した学位の証明として、成績および学位取得証明書を申請してください。
※4 日本の大学へ編入した場合は、日本の大学の成績証明書に加え、編入前の成績証明書の申請をしてください。

※書類提出の際は該当箇所に☑を入れ、こちらのチェックシートを提出してください。

出願書類	様式	該当者	☑必須条件	☑事項
0. 提出書類について【修士課程】 (こちらのチェックシート)		全員	<p>※事前面談の申し込み(出願前)には「様式3」(必須)、「様式5」(該当者のみ)、CHSIへ証明書の申請(中国の大学出身の場合)が必要となります。CHSIへの申請は第3回入試を希望の場合、10月末までに必ず申請してください。 ※証明書のコピー(自分で印刷したもの)は認められません(⑭-2、⑯-2を除く)原本を提出してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事前面談実施済である。(個別相談会&ゼミ見学会での教員との相談は「事前面談」に含みません。</p>	
1. 入学検定料 払込に関する書類	様式1	全員	①~④の いずれか1つに ☑	<p>【コンビニ・オンライン決済の場合】 ☐①収納証明書を貼付すること</p> <p>【金融機関で振込の場合】 (窓口・ATM・インターネットバンキング共通) いずれか1つを貼付すること ☐②振込金受領書(コピー) ☐③ATM利用明細(コピー) ☐④振込取引明細画面(コピー)</p>
2. 入学志願票	様式2	全員	⑤⑥両方☑	<p>☐⑤3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付すること ☐⑥写真裏面に志望課程、氏名を記載のうえ貼付すること</p>
		中国の大学を卒業の場合	⑦⑧両方☑	<p>☐⑦CHSIの成績証明書「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のコピーの有無を☑すること ☐⑧CHSIの学士、学位証明書「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」のコピーの有無を☑すること</p>
3. 卒業(見込)証明書 (厳封不要)		日本の大学を 卒業(見込含む)の場合のみ (ダブルディグリー取得を含む)	⑨☑ ⑩⑪ 該当者のみ☑	<p>☐⑨日本語の証明書を提出すること ☐⑩証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付すること ☐⑪複数の日本の大学を卒業した場合(複数の学位含む)は、所属した全ての大学について証明書を提出すること</p>
4. 成績証明書 (厳封不要)		日本の大学を 卒業(見込含む)の場合	⑫☑	☐⑫日本語の証明書を提出すること
		外国の大学を卒業 (見込含む)の場合 ※中国の大学出身の場合は、 下欄を参照	⑬☑	☐⑬英語または日本語の証明書を提出すること
	CHSI	中国の大学を卒業の場合 (ダブルディグリー取得、 日本の大学に編入した場合を含む)	⑭-1、⑭-2 両方☑	<p>☐⑭-1 CHSI(中国高等教育学生信息网もしくは中国学歴・学籍認証センター日本代理機構)が発行する英文の証明書 「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」を法政大学に電子認証報告メールで直送 すること(送信されるよう申請) ※電子メールの送信先: rpd-j@hosei.ac.jp ※出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送したものは不可 ☐⑭-2 ⑭-1の英文の証明書のコピーを提出すること</p>
		該当者のみ (日本・外国・中国の大学)	⑮~⑳ 該当者のみ☑	<p>☐⑮卒業(修了)証明と成績証明を一つの書式で満たす証明書がある場合は、該当証明書1通の提出でよい ☐⑯GPAを表す証明書がある場合はそれを提出すること ☐⑰証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付すること ☐⑱複数の大学を卒業した場合(複数の学位含む)、ダブルディグリーにより学位を取得した場合は、所属した全ての大学について の証明書も提出すること ☐⑲編入学・修士入学経験者はそれぞれの学校の証明書も提出すること (中国の大学で専科大学(3年制)から4年制大学に編入した場合は、専科大学の成績認証も⑭の方法でCHSIに申請してください。) ☐⑳他大学で取得した単位の認定を受けた場合は、単位を取得した大学の証明書も提出すること</p>
5. 学士学位取得(見込) 証明書(厳封不要)		外国の大学卒業(見込含む) の場合のみ (ダブルディグリー取得を含む) ※中国の大学出身の場合は、 下欄を参照	㉑か㉒の いずれか1つに ☑ ㉓該当者のみ	<p>☐㉑英語または日本語の証明書を提出すること ☐㉒成績証明書に取得学位が記載されている場合は提出不要 ☐㉓複数の大学を卒業した場合(複数の学位含む)は、所属した全ての大学について証明書原本を提出すること</p>
	CHSI	中国の大学を卒業した場合 (ダブルディグリー取得を含む)	㉔-1&㉔-2	<p>☐㉔-1 CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の証明書 「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」を法政大学に電子認証報告メールで直送すること (送信されるよう申請) ※電子メールの送信先: rpd-j@hosei.ac.jp ※出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送したものは不可 ※CHSI発行の「Qualification Certificate(卒業証明書)」、「Student Record(学籍確認)」の提出は不可 ☐㉔-2 ㉔-1の英文の証明書のコピーを提出すること</p>
6. 研究計画書 (事前面談必要書類)	様式3	全員	㉕-1&㉕-2	<p>☐㉕-1日本語にて参考文献を除いて2,000字程度で研究テーマ、研究目的、研究計画を詳しく記入すること。 ☐㉕-2文字数を記入すること。参考文献を除き、2,000字を大きく下回る場合は審査・面談不可</p>
7. 履歴書	様式4	全員	㉖⑳両方☑	<p>☐㉖3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付すること ☐㉗写真裏面に志望課程、氏名を記載のうえ貼付すること</p>
8. 職務・活動等報告書 (事前面談必要書類)	様式5	社会人A0 入試志願者のみ	㉘☑	☐㉘職務経験や社会的活動の経験について記入
9. 日本語能力を証明する 書類		外国籍志願者のみ	㉙か㉚の いずれか1つに ☑	<p>☐㉙「日本語能力試験N1」取得を証明する書類(原本提出・コピー不可・配点の記載必要)を提出すること ※原本は入学試験の当日、会場で返却します。 ☐㉚日本における日本語による学士以上の課程を修了した者(2024年3月卒業見込みの者含む)は提出不要</p>
10. 住民票 (市区役所・町村役場発行 のもの)		外国籍志願者のみ	㉛ ㉜&㉝ ㉞&㉟ いずれか1つに ☑	<p>【日本に住所登録がある場合】 ☐㉛「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号(マイナンバー)が記載されていないものを提出すること。3ヶ月以内に 取得したもの 【日本に住所登録がない場合(短期滞在ビザでの入国等)】 ☐㉜パスポート写しを提出すること ☐㉝写真および旅券番号がわかるページ&㉞ビザのページ ☐㉞写真および旅券番号がわかるページ&㉟ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ</p>
11. 個別の入学資格審査 結果について (通知)のコピー		個別の入学資格審査合格者のみ	㉟該当者のみ☑	☐㉟「出願資格を有する」と表記されている面接審査通過時の通知文書のコピー

提出書類チェックシート【修士課程】(Excelファイルが別にあります。そちらをご利用ください)

9 博士後期課程入試要項

【1】指導教員の受け入れ承認

博士後期課程に出願する方は全員、希望される指導教員等より受け入れの承認を受ける必要があります。（承認されることにより受験が可能となります。）面談を希望される場合は調整のため、日程表の**事前面談申込期間**に余裕を持って下記のホームページを通じて大学院課政策創造研究科担当に面談の申請を行ってください。

p. 4 「5 入学試験に関する各種日程」をご参照ください。

【（希望者）博士後期課程入学希望者事前面談申込ホームページ】
https://www.hosei.ac.jp/gs/seisakusozo/d_jizenmendan/



指導教員の受け入れ承認を受けていない場合、直近で実施される試験を受けることはできません。
指導教員より受け入れの承認を得た後で、検定料の振り込みを出願期間に行ってください。
出願書類一式（紙）は出願期間に郵送する必要があります。

【2】受験資格

区分	一般入試	社会人 AO 入試
条件	以下 1～6 のいずれかに該当する者。	全ての受験資格において、2024 年 4 月 1 日現在で、社会人経験 3 年以上を有し 27 歳に達した者で、以下 1～6 のいずれかに該当する者。
1	修士の学位又は専門職学位を有する者、又は 2024 年 3 月末までに学位を授与される見込みの者	
2	外国における大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は 2024 年 3 月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者	
3	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は 2024 年 3 月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者（※1）	
4	文部科学大臣の指定した者（※2）	
5	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者（※3）	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（※3）
6	国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（※4）	

※1・※2・※4 この資格で受験希望の場合、出願締切日 1 ヶ月前までに大学院課政策創造研究科担当にて受験資格を確認してください。

※3 詳細は p. 15 「10 個別の入学資格審査について」を参照してください。

なお、24 歳に達した者とは入学時（2024 年 4 月）の年齢を指します。

【3】試験内容（一般入試・社会人 AO 入試共通）

- 書類審査
- 面接試験

【4】試験会場

市ヶ谷キャンパス

【5】出願手続

- 出願書類はパソコンにて直接入力するか、もしくは黒サインペンまたはボールペン等（消せるボールペン不可）、消しゴムで消せないものを使用し楷書にて記入してください。

2. 入学検定料 35,000 円は**出願期間内**に納入してください。
コンビニエンスストアまたはクレジットカードで入学検定料を納入する場合は、p. 20 をご参照ください。
金融機関（窓口・ATM・インターネットバンキング共通）で入学検定料を納入する場合は、p. 21 をご参照ください。 ※一旦納入された検定料は、事情の如何にかかわらず返還できませんのでご注意ください。
3. 提出書類は角型 2 号（240mm×332 mm）の封筒に入れ、出願期間内に大学院課政策創造研究科担当まで簡易書留にて郵送してください。封筒表面（宛先）には、封筒表面データを印刷したものを貼付してください。
※提出された書類は返却できませんのでご注意ください。
4. 出願は締切日消印有効とします（厳守）。出願締切日、もしくはその前日の消印となる場合は、速達簡易書留にて郵送してください。
5. 出願書類を受理し、処理が完了した段階で受験票を Email に添付してお送りします。併せて試験日当日の集合時間・場所をお知らせしますので必ずご確認ください。
試験日の 3 日前になっても受験票が届かない場合は大学院課政策創造研究科担当までご連絡ください。
6. 受験資格について確認が必要な場合は、必ず出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までお問い合わせください。
7. 身体に障がいがあり、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までご相談ください。
8. 出願書類は次ページの通りです。表は提出書類のチェックシートとして使用し、書類提出の際は、該当箇所にチェックを入れて出願書類一式に同封の上で提出してください。証明書のコピー（自分で印刷したものを含む）は認められません（CHSI 証明書を除く）。原本を提出してください。
なお、修了した学校の都合により証明書の再発行ができない場合は、以下の通りにしてください。
 - ・修了証明書、成績証明書の原本をお持ちで、返送希望の場合
事前に大学院課政策創造研究科担当へ連絡の上、返送希望の旨を記載したメモと、返信先住所・氏名を明記した返送用封筒に郵送料分の切手を貼り付け同封してください。
 - ・保管期限により証明書が発行されない場合
卒業した学校に発行不可の証明書を発行してもらい、提出してください。
9. 複数の大学院を修了（見込み含む）されている場合には、それぞれの「成績証明書」「修了証明書」をご提出してください。他大学で取得した単位の認定を受けた場合は、単位を修得した大学の証明書も提出してください。中国の大学、大学院が含まれる場合は 1 2. を参照してください。
10. 法政大学の学部卒業で、修士課程は他大学院を修了している場合は、修士課程（他大学院）の証明書だけでなく、法政大学の学部の卒業証明書も提出してください。これにより、法政大学の出身者（自校）であることが証明されます。
11. 住民票の提出について（外国籍志願者の方へ）
 - ・提出する「住民票」は在留資格および在留期間が明記されているもの（省略されていないもの）であり、さらに、マイナンバー（個人番号）が記入されていないものをご提出ください。
 - ・受験するためには、住民票に記載されている「在留期間満了の日」が入学試験日より後である必要があります。出願時に在留期間更新中の場合は「いま現在提出できる最新の住民票」と「在留カードの表・裏面のコピー（在留資格・期間更新中であることが分かるもの）」を両方提出してください。
 - ・日本に住所登録がある場合は、住民票の提出が必須です。在留カードのコピーでは受理できませんのでご注意ください。
 - ・日本に住所登録がない場合（短期滞在ビザでの入国等）は、各種様式のパスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ）を提出してください。

12. 中華人民共和国の教育機関出身の大学院志望の方は以下のとおり、CHSI（中国高等教育学生信息网もしくは中国学歴・学籍認証センター日本代理機構）から下記の2つの証明書（英文）の申請をP4「入学試験に関する各種日程」に記載の事前面談の申し込み期限までに行い、CHSI から法政大学に電子認証報告メールで直送してください。※1～※4

・成績証明書：CHSI が発行する「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」

・学位取得証明書：CHSI が発行する「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

※1 CHSI からの証明書が出願期間に間に合わない場合は受験できません。

※2 第3回入試を出願予定の場合は、必ず10月末までにCHSIに申請してください。

※3 ダブルディグリー取得の場合も、中国の大学で取得した学位の証明として、成績および学位取得証明書を申請してください。

※4 日本の大学へ編入した場合は、日本の大学の成績証明書に加え、編入前の成績証明書の申請をしてください。

※書類提出の際は該当箇所に☑を入れ、こちらのチェックシートを提出してください。

出願書類	様式	該当者	☑必須条件	注意事項
0. 提出書類について【博士後期課程】 (こちらのチェックシート)		全員		<p>※中国の大学出身の場合は、入試要項の「入試試験に関する各種日程」の事前面談申込期限までにCHSIへ証明書の申請をしてください。第3回入試を希望する場合は10月末までに必ず申請してください。</p> <p>※証明書のコピー(自分で印刷したもの)は認められません(⑩-2、⑫-2を除く)原本を提出してください。</p>
1. 入学検定料払込に関する書類	様式1	全員	①~④のいずれか1つに☑	<p>☐希望の指導教員より受け入れ承認済である。</p> <p>【コンビニ・オンライン決済の場合】 ☐①取納証明書を貼付すること</p> <p>【金融機関で振込の場合】 (窓口・ATM・インターネットバンキング共通) いずれか1つを貼付すること ☐②振込金受領書(コピー) ☐③取引明細書(コピー) ☐④振込取引明細画面(コピー)</p>
2. 入学志願票	様式2	全員	⑤⑥両方☑	<p>☐⑤3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付すること</p> <p>☐⑥写真裏面に志望課程、氏名を記載のうえ貼付すること</p>
		中国の大学を卒業の場合	⑦⑧両方☑	<p>☐⑦CHSIの成績証明書「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のコピーの有無を☑すること</p> <p>☐⑧CHSIの学士、学位証明書「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」のコピーの有無を☑すること</p>
3. 修了(見込)証明書(厳封不要)		日本の大学院を修了(見込含む)の場合のみ (ダブルディグリー取得を含む)	⑨☑	☐⑨日本語の証明書を提出すること
		外国の大学(大学院)を修了した場合 ※中国の大学出身者を含む	⑩⑪⑫該当者のみ☑	<p>☐⑩証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付すること</p> <p>☐⑪複数の日本の大学院を卒業した場合(複数の学位含む)は、所属した全ての大学院について証明書を提出すること</p> <p>☐⑫大学院は他大学院で学部は法政大学を卒業した場合は、卒業証明書も提出してください</p>
4. 成績証明書(厳封不要)		日本の大学院を修了した場合	⑭☑	☐⑭日本語の証明書を提出すること
		外国の大学院を修了(見込含む)の場合 ※中国の大学出身の場合は、下欄を参照	⑮☑	☐⑮英語または日本語の証明書を提出すること
	CHSI	中国の大学を卒業の場合 (ダブルディグリー取得、日本の大学に編入した場合を含む)	⑯-1、⑯-2両方☑	<p>☐⑯-1 CHSI(中国高等教育学生情報網もしくは中国学歴・学籍認証センター日本代理機構)が発行する英文の証明書「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」を法政大学に電子認証報告メールで直送すること(送信されるよう申請) ※電子メールの送信先: rpd-j@hosei.ac.jp ※出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送したものは不可</p> <p>☐⑯-2 ⑯-1の英文の証明書のコピーを提出すること</p>
		該当者のみ (日本・外国・中国の大学院)	⑰~⑳該当者のみ☑	<p>☐⑰卒業(修了)証明と成績証明を一つの書式で満たす証明書がある場合は、該当証明書1通の提出でよい</p> <p>☐⑱GPAを表す証明書がある場合はそれを提出すること</p> <p>☐⑲証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付すること</p> <p>☐⑳複数の大学を卒業した場合(複数の学位含む)、ダブルディグリーにより学位を取得した場合は、所属した全ての大学についての証明書も提出すること</p> <p>☐㉑編入学・修士入学経験者はそれぞれの学校の証明書も提出すること</p> <p>☐㉒他大学院で取得した単位の認定を受けた場合は、単位を取得した大学院の証明書も提出すること</p>
		外国の大学院修了(見込)の場合のみ (ダブルディグリー取得を含む) ※中国の大学出身の場合は、下欄を参照	㉓②③のいずれか1つに☑	☐㉓英語または日本語の証明書を提出すること
		中国の大学を卒業の場合 (ダブルディグリー取得を含む)	㉔①②③両方☑	<p>☐㉔修了(見込)証明書に取得学位が記載されている場合は提出不要</p> <p>☐㉕複数の大学を卒業した場合(複数の学位含む)は、所属した全ての大学について証明書原本を提出すること</p>
5. 修士学位取得(見込)証明書(厳封不要)	CHSI	中国の大学を卒業の場合 (ダブルディグリー取得を含む)	㉖-1&㉖-2両方☑	<p>☐㉖-1 CHSI(中国高等教育学生情報網)が発行する英文の証明書「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」を法政大学に電子認証報告メールで直送すること(送信されるよう申請) ※電子メールの送信先: rpd-j@hosei.ac.jp ※出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送したものは不可 ※CHSI発行の「Qualification Certificate(卒業証明書)」、「Student Record(学籍確認)」の提出は不可</p> <p>☐㉖-2 ㉖-1の英文の証明書のコピーを提出すること</p>
6. 受験論文		必要	㉗~㉙☑	<p>☐㉗-1論文(修士論文や研究論文等)および論文要旨それぞれ3部提出 ※現在修士課程に在籍中の場合は「執筆途中」として提出可能</p> <p>☐㉗-2提出された論文は返却不可。原本を手元に残しておきたい場合や原本は出身大学にしかない等の場合にはコピーを提出すること</p> <p>☐㉘ 論文要旨は2,000字以内で論文とは別に提出すること</p>
7. 研究計画書(事前面談必要書類)	様式3	必要	㉚-1&㉚-2両方☑	<p>☐㉚-1日本語にて2,000字程度で研究テーマ、研究目的、研究計画を詳しく記入すること。</p> <p>☐㉚-2文字数を記入すること。2,000字を大きく下回る場合は審査・面談不可</p>
8. 履歴書	様式4	必要	㉛④両方☑	<p>☐㉛3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付すること</p> <p>☐㉜写真裏面に志望課程、氏名を記載のうえ貼付すること</p>
9. 職務・活動等報告書(事前面談必要書類)	様式5	社会人A0入試志願者のみ	㉝該当者のみ☑	☐㉝職務経験や社会的活動の経験について記入
10. 研究論文・作品等		任意 ※提出する場合は3部	㉞該当者のみ☑	<p>☐㉞研究テーマに関する内容のものであれば、形式は自由</p> <p>指定封筒に入らない大きさのものについては予め大学院課政策創造研究科担当宛に連絡の上、別途ご郵送すること</p>
11. 住民票(市区役所・町村役場発行のもの)		外国籍志願者のみ	㉟④⑤⑥⑦いずれか1つに☑	<p>【日本に住所登録がある場合】 ☐㉟「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号(マイナンバー)が記載されていないものを提出すること 3ヶ月以内に取得したもの</p> <p>【日本に住所登録がない場合(短期滞在ビザでの入国等)】 ☐㊱パスポート写しを提出すること ☐㊲写真および旅券番号がわかるページ&㊳ビザのページ ☐㊳写真および旅券番号がわかるページ&㊴ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ</p>
12. 個別の入学資格審査結果について(通知)のコピー		個別の入学資格審査合格者のみ	㊵該当者のみ☑	☐㊵「出願資格を有する」と表記されている面接審査通過時の通知文書のコピー

提出書類チェックシート【博士後期課程】(Excelファイルが別にあります。そちらをご利用ください)

10 個別の入学資格審査について

修士課程の受験資格区分「9」、博士後期課程の受験資格区分「5」より受験資格を取得したい方は、以下の通り入学資格審査を行います。

入学資格審査において、課題審査を通過した方は（修士の方は事前面談、博士の方は受け入れ承認を兼ねた面接審査）を受けていただき、面接審査を通過した方のみ出願することができます。

面接審査希望日を教員と調整するため、提出書類についてはできる限り早く郵送されることをお勧めします。所定の期日（p.4 参照）までに審査を受けられない場合は、直近で実施される試験を受けることはできません。また、年度内最後の試験に間に合わない場合には、次年度、再度入学資格審査から受けていただくこととなります。

入試出願書類に入学資格審査と同様の証明書の提出を求めているものがあります。代用はできませんので、入試出願時も同様の証明書を再度ご用意いただき出願してください。

提出書類の内、卒業した学校の都合により卒業証明書や成績証明書について再発行が不可能な証明書等の原本については、事前に大学院課政策創造研究科担当へ連絡の上、証明書のコピーとそのコピーが正しいことの公証書を提出することで原本に代えることができます。また、保管期限により証明書が発行されない場合には、卒業した学校に発行不可の証明書を発行してもらい、提出してください。加えて、新たに証明書の発行が不可能であり、返送を希望する場合は、その旨を記載したメモと、返信先住所・氏名を明記した返送用封筒に郵送料分の切手を貼り付け、同封してください。

【1】審査方法（修士課程・博士後期課程共通）

1. 課題審査
2. 面接審査

提出書類については次ページ参照。

【2】 入学資格審査提出書類

下記項目より提出が必要なものを、p.4 記載の提出期限までに郵送してください。外国籍の方で入学資格審査を希望される方はあらかじめお問い合わせの上、出願書類の提出をお願いします。

出願書類	提出	備考
1. 最終学歴の出身学校の卒業証明書	必要	・証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの（戸籍抄本等）を添付してください。
2. 成績証明書	必要	・証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの（戸籍抄本等）を添付してください。
3. 入学資格審査申請書	必要	・申請書は下記 URL より政策創造研究科の「入学資格審査申請書」を印刷してご利用ください。 https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/applicationguidelines/
4. 研究計画書の下書き	必要	・日本語にて 2,000 字程度（参考文献は除く）で入学後の研究テーマ、研究目的、研究計画を詳しく記入してください。書式は自由です。 ・2,000 字を大きく下回る場合は審査・面接できません。
5. 語学能力を証明する書類	修士課程出願予定の外国籍志願者のみ	・「日本語能力試験 N1」取得を証明する書類（コピー可）を提出してください。
6. 研究業績等の専門（研究テーマ）に関するレポート（8,000 字以上）	修士課程出願予定の方のみ	・日本語にて記入してください。書式は自由です。 ・8,000 字に満たない場合は、審査の対象となりません。面接も行いません（文字数を記入すること）。 ※研究の背景と目的、先行研究、結果と考察、結論等の内容を含むことが望ましい
7. 修士論文に相当する学術論文	博士後期課程出願予定の方のみ	
8. その他	大学から提出を求められた者のみ	

【3】 書類提出先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-3-9

法政大学大学院事務部大学院課 政策創造研究科担当

【4】 面接審査

課題審査を通過した方は、（修士の方は事前面談、博士の方は受け入れ承認を兼ねた面接審査）を受けていただきます。面接審査日については課題審査を通過した方のみ後日通知します。

【5】 審査結果

入学資格審査の結果は、後日郵送します。面接審査を受けた後の入学資格審査結果通知に「出願資格有り」と記載のある場合に限り、当該年度内の出願が可能となります。

11 検定料・学費・奨学金等について

■検定料

出願時に検定料として 35,000 円が必要です。

■学費

学費は下表の通りです。

(1) 修士課程

		1 年次		2 年次		合計
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入学金	自校(※1)	135,000 円	—	—	—	
	他校(※2)	270,000 円				
授業料		375,000 円	375,000 円	375,000 円	375,000 円	
教育充実費		67,500 円	67,500 円	67,500 円	67,500 円	
合計	自校(※1)	577,500 円	442,500 円	442,500 円	442,500 円	1,905,000 円
	他校(※2)	712,500 円				2,040,000 円

(2) 博士後期課程

		1 年次		2 年次		3 年次		合計
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入学金	自校(※1)	—	—	—	—	—	—	
	他校(※2)	270,000 円						
授業料		375,000 円	375,000 円	375,000 円	375,000 円	375,000 円	375,000 円	
教育充実費		67,500 円	67,500 円	67,500 円	67,500 円	67,500 円	67,500 円	
合計	自校(※1)	442,500 円	442,500 円	442,500 円	442,500 円	442,500 円	442,500 円	2,655,000 円
	他校(※2)	712,500 円						2,925,000 円

※1：「自校出身者」は、本学の学部卒業者または、大学院修了者を指す。

※2：「他校出身者」は※1以外の者を指す。

学費は春学期（4月末）・秋学期（9月末）の2回に分けて納入していただくことになります。

ただし1年次（初年度）については、入学手続き時に入学金・授業料（春学期）・教育充実費（春学期）の合計金額を一括納入していただきます。残りの授業料（秋学期）・教育充実費（秋学期）については9月末までの納入となります。

■入学手続き後の学費等の返還

本学への入学手続きを完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2024年3月31日（日）までに大学が定める手続きにより届出をした者には、入学金を除く学費（授業料・教育充実費）を返還します。入学手続き等詳細は合格者に交付される「入学手続き書類」を参照してください。

■長期履修制度（修士課程）

本研究科の長期履修制度を活用した場合、通常の修了年限（2年）に必要な授業料を3年または4年にかけて分納することが可能です。仕事と両立しながら学業にじっくりと取り組みたい社会人にとって年度あたりの授業料負担を軽減させることができる制度です。

	授業料（年間）	授業料（半期） ＝分納時の金額	分納回数
長期履修制度 （4年選択）	375,000 円	187,500 円	8 回
長期履修制度 （3年選択）	500,000 円	250,000 円	6 回
通常履修（2年）	750,000 円	375,000 円	4 回

※長期履修制度を用いた履修期間は入学手続き時に選択・確定します。

入学手続き後の申請はできません。

※入学金・教育充実費の長期履修制度による分納はできません。

※教育充実費は3年目以降においても発生します。ただし金額は通常金額の1/2の額となります。

※長期履修制度を選択した者が予定の履修期間を短縮して修了することになった場合、通常履修時2年分の授業料との差額を一括で納める必要があります。

■奨学金

以下の奨学金制度が活用できます。

法政大学 100 周年記念大学院修士課程奨学金【給付】

修士課程在籍の大学院生への修学支援として、経済的支援を行うことを目的としています。応募資格を有する申請者の中から選考の上、200,000 円が支給されます。

※法政大学私費外国人留学生授業料減免制度の適用を受けた場合は授業料減免額分を控除して給付されます。

法政大学大学院博士後期課程研究助成金【給付】

博士後期課程在籍の大学院生への修学支援として、学術活動を奨励し高度な研究能力と豊かな学識を有する若手研究者を育成するため、経済的な支援を行うことを目的としています。本助成金は、原則として応募資格を有する申請者全員に 320,000 円給付されます。※

※法政大学私費外国人留学生授業料減免制度の適用を受けた場合は授業料減免額分を控除して給付されます。

地方公共団体・民間団体奨学金

各種団体が随時奨学生を募集しています。条件については各団体により異なります。

日本学生支援機構奨学金【貸与】

日本学生支援機構の奨学金は貸与型です。返還の義務がありますので、奨学金を希望する学生は、将来の返済を念頭において出願してください。出願受付は4月中旬に行います。

出願資格	修士・博士後期課程の在学学生 ただし、下記の者は資格外です (1) 標準修業年限を超えた在学学生 (2) 収入基準額を超える者 (3) 大学院での研究に支障のあるような定職または週21時間以上のアルバイトに従事する者および勤務先から派遣されて在学する者。	
種類	第一種奨学金：無利子	
	第二種奨学金：年3%を上限とする変動金利（在学中は無利息）	
貸与月額	第一種奨学金	修士課程 50,000円・88,000円から選択（2022年度）
		博士後期課程 80,000円・122,000円から選択（2022年度）
	第二種奨学金	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

条件は変更となる場合があります。

■厚生労働省教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

本研究科（修士課程のみ（ただし、長期履修制度選択者は除く））は、「専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」に指定されています。対象者は、2年間で本研究科修士課程を修了すると、**最大112万円**の給付を受けることができます。対象者の条件等、詳しくは最寄りのハローワークにお尋ねください。申請は、キャリアコンサルタントとコンサルティングを実施してジョブカードの交付を受けた上、受講開始1ヶ月前（2024年2月29日（木））までにハローワークにて行う必要が有りますので、ご注意ください。

申請に当たっては、下記の情報が必要です。

1. 教育訓練施設名：法政大学大学院
2. 教育訓練講座名：政策創造研究科政策創造専攻
3. 指定番号：1310098-1710011-5
4. 受講開始予定年月日：2024（令和6）年4月1日
5. 受講修了予定年月日：2026（令和8）年3月24日

■国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱う融資制度で、銀行よりも低い金利で融資が受けられます。契約は家計支持者と日本政策金融公庫との間で行われます。受験前から申し込むことも可能ですが、混雑時には通常よりも審査に日数を要する場合があります。お早めに日本政策金融公庫に直接お問い合わせください。

<日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター>

URL: <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

ナビダイヤル: 0570-008-656、Tel: 03-5321-8656

受付時間:

月～金曜日 9:00～21:00、

土曜日 9:00～17:00

※日曜日、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）はご利用頂けません。

■その他

在留資格が「留学」の外国人留学生には、下記の制度や奨学金があります。

- ・外国人留学生のための授業料減免制度（対象者は、授業料の2割相当額の減免）
- ・留学生受入れプログラム（文部科学省奨学金及び外部奨学財団（選考の上採用）

13 金融機関（窓口・ATM・インターネットバンキング）での入学検定料支払方法

- (1) 入学検定料支払に当たって
必ず出願期間内に入学検定料 35,000 円を納入してください。期間を過ぎての振込みは一切認められません。なお、現金書留や大学院事務窓口等に直接持参する方法では納入できません。
- (2) 振込手順について
振込先の口座情報は以下のとおりです。間違いのないよう慎重に手続を行ってください。

銀行名	三井住友（ミツイスミトモ）銀行
支店名	飯田橋（イイダバシ）支店
種 別	普通預金
口座番号	2 9 1 1 4 2 6
口座名	ハウセイダイガク ダイガクイン
整理番号	1 0
振込金額	3 5, 0 0 0 円

窓口・ATM・インターネットバンキングからの振込時に、以下の内容を入力してください。
2桁の整理番号と氏名（カタカナ）の間を空けずに入力してください。

1 0

+

氏名（カタカナ）

- (3) 振込後について
様式1「入学検定料払込に関する書類」の(2)に
- ・窓口・ATMで振込の場合は「振込金受領書（コピー）」・「ATM利用明細（コピー）」
 - ・インターネットバンキングで振込の場合には「振込取引明細画面（コピー）」
- を貼付し、出願書類を送付してください。

※「振込金受領書」・「ATM利用明細」の原本は各自で保管してください。

入学検定料払込に関する書類

志望課程 修士課程 ・ 博士後期課程 (いずれかに○)

氏名 _____

※ (1) または (2) の書類を貼付してください。

- (1) コンビニエンスストアもしくはクレジットカードでの支払の場合
下記欄に「収納証明書」を貼付してください。

コンビニエンスストア クレジットカード 収納証明書 貼付欄
--

- (2) 金融機関（窓口・ATM・インターネットバンキング）での支払の場合
下記欄に「振込金受領書（コピー）」または「ATM利用明細（コピー）」または「振込取引明細画面（コピー）」を貼付してください。

※枠内に入り切らない場合には、折って貼付しても構いません。

(様式2)

2024年度 法政大学大学院 政策創造研究科入学志願票

受験
番号

写真貼付欄

- 上半身脱帽、最近3ヶ月以内に撮影のもの。
- スナップ写真不可。
- 写真の裏面に志望課程、氏名を記入のこと。
- 写真をこの大きさに切って全面に糊付すること
(4cm×3.5cm)

氏名	フリガナ	姓(Family Name)	名(First Name)	性別 男・女
	漢字			
	英語・ローマ字			
生年月日	(西暦) 年 月 日生 (満 歳)	国籍		
住所 連絡先	〒 TEL 携帯 E-mail			
志望課程	修士課程 or 博士後期課程 (いずれかに○)			
試験日	第1回(2023年7月)・第2回(2023年11月)・第3回(2024年2月) (いずれかに○)			
試験種別	一般入試 or 社会人AO入試 (いずれかに○)			
希望 指導教員名				
研究 テーマ				
出身学校	高校	国立 公立 私立	高等学校	年 月 卒業
	大学	国立 公立 私立	大学 学部	年 月 卒業(修了) 卒業(修了)見込
	大学院	国立 公立 私立	大学 大学院 研究科	年 月 専攻 修了 修了見込
	その他	国立 公立 私立		年 月 卒業(修了) 卒業(修了)見込
中国の大学 を卒業した 場合に☑	有□ 無□ : 成績証明書のコピー (Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)			
	有□ 無□ : 学位取得証明書のコピー (Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate)			
備考				

- (注1) 太線内に必要事項を記入、または該当部分を○で囲んでください。消せるボールペンは使用不可。
(注2) 氏名の文字は住民票と同一のものを記入してください(略字不可)。
(注3) 出身学校記入欄について、複数の大学を卒業または複数の大学院を修了している場合は上段に倣い下段(その他)に記入してください。大学、大学院以外の学校が最終学歴となる方は下段に記入してください。記入された出身学校については、全て各種証明書の提出対象となります。

受験番号	
------	--

研究計画書

(事前面談必要書類)

(修士課程・博士後期課程 (いずれかに○)) 氏名 _____

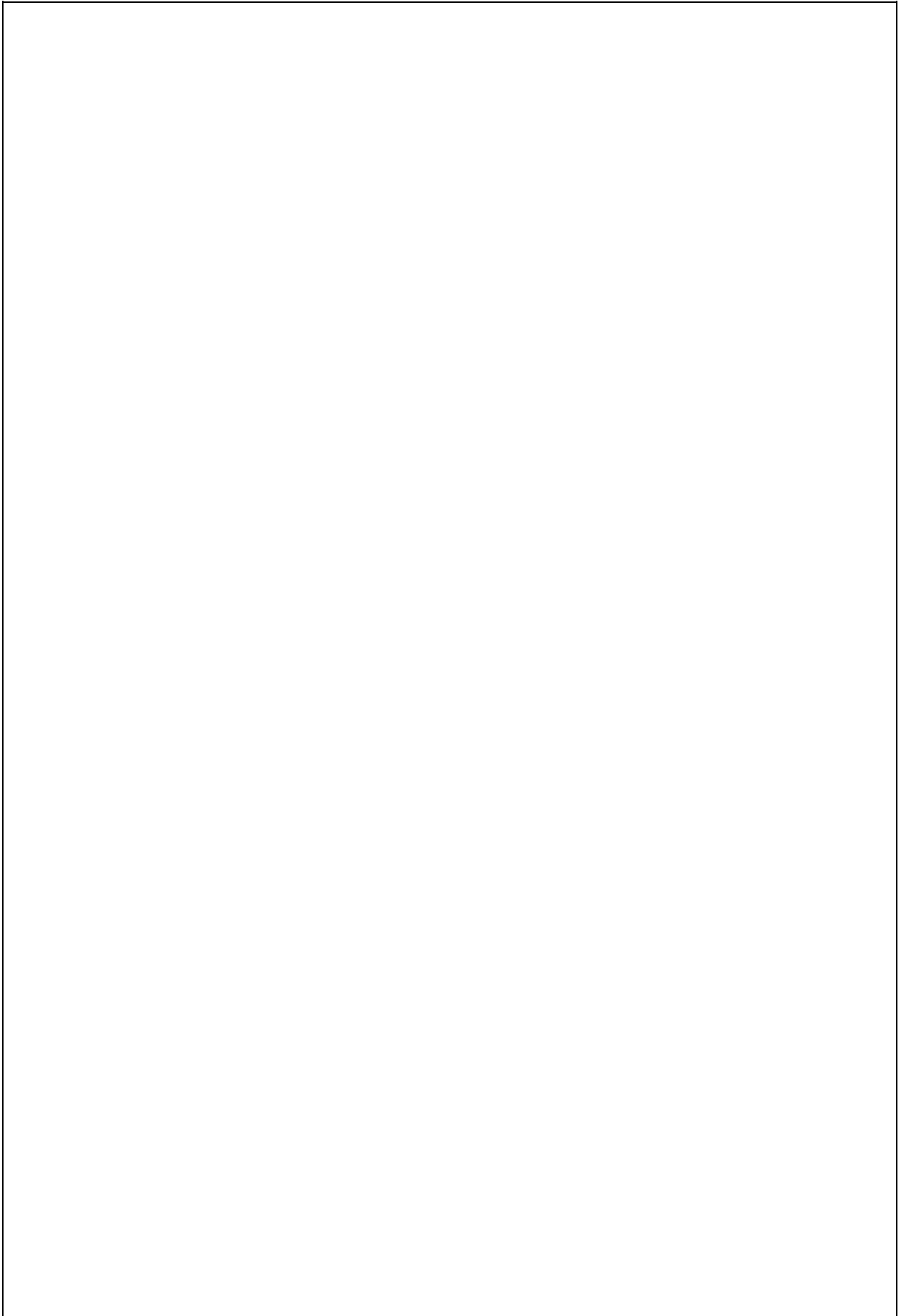
1 希望指導教員名 _____

2 1を希望する理由

3 入学後の研究テーマ

4 入学後の研究計画を以下に記してください。(裏面もご利用ください)
2,000字を大きく下回る場合は、面接ないし面談はできません。(参考文献は除く)
※別紙を添付したい場合には、別紙参照と記載の上、添付することも可。
その際、別紙にも氏名を記載すること。

総文字数： _____ 字



(様式4)

法政大学大学院 政策創造研究科 政策創造専攻

受験番号	
------	--

履歴書

本様式を使用してください(市販の履歴書は不可)

(西暦) 年 月 日 現在

志望課程	修士・博士後期 課程	希望指導教員名	
フリガナ			写真貼付欄 (4×3.5cm) 1.上半身脱帽、3ヶ月以内撮影のもの 2.スナップ写真不可 3.写真の裏面に志望課程、氏名を記入
氏名			
生年月日	(西暦) 年 月 日生	(満 歳)	
住所 連絡先	〒		
	TEL	携帯	
	E-mail		

勤務先名					
所属部課・役職名					
勤務先住所		〒			
		TEL			
学 歴 (高等学校以降全ての学歴を記入すること)					
(西暦)	年	月	高等学校 卒業		
			大学	学部	学科
			コース	入学	
			大学	学部	学科
			コース	卒業	
			大学 大学院	研究科	専攻
			課程	入学	
			大学 大学院	研究科	専攻
			課程	修了	
学 位 (学部・大学院) ※複数ある場合はそれぞれ記載すること					
(授与年月・西暦)	年	月	学位名	□学士() □修士()	大学名
			例: <input checked="" type="checkbox"/> 学士 (法学)	□博士後期課程()	
指導教員		卒業/修了・論文名等			
(授与年月・西暦)	年	月	学位名	□学士() □修士()	大学名
			例: <input checked="" type="checkbox"/> 学士 (法学)	□博士後期課程()	
指導教員		卒業/修了・論文名等			
(授与年月・西暦)	年	月	学位名	□学士() □修士()	大学名
			例: <input checked="" type="checkbox"/> 学士 (法学)	□博士後期課程()	
指導教員		卒業/修了・論文名等			

受験番号	
------	--

(社会人 A0 入試用) (事前面談必要書類)

職務・活動等報告書

(修士課程・博士後期課程(いずれかに○)) 氏名 _____

希望指導教員名 _____

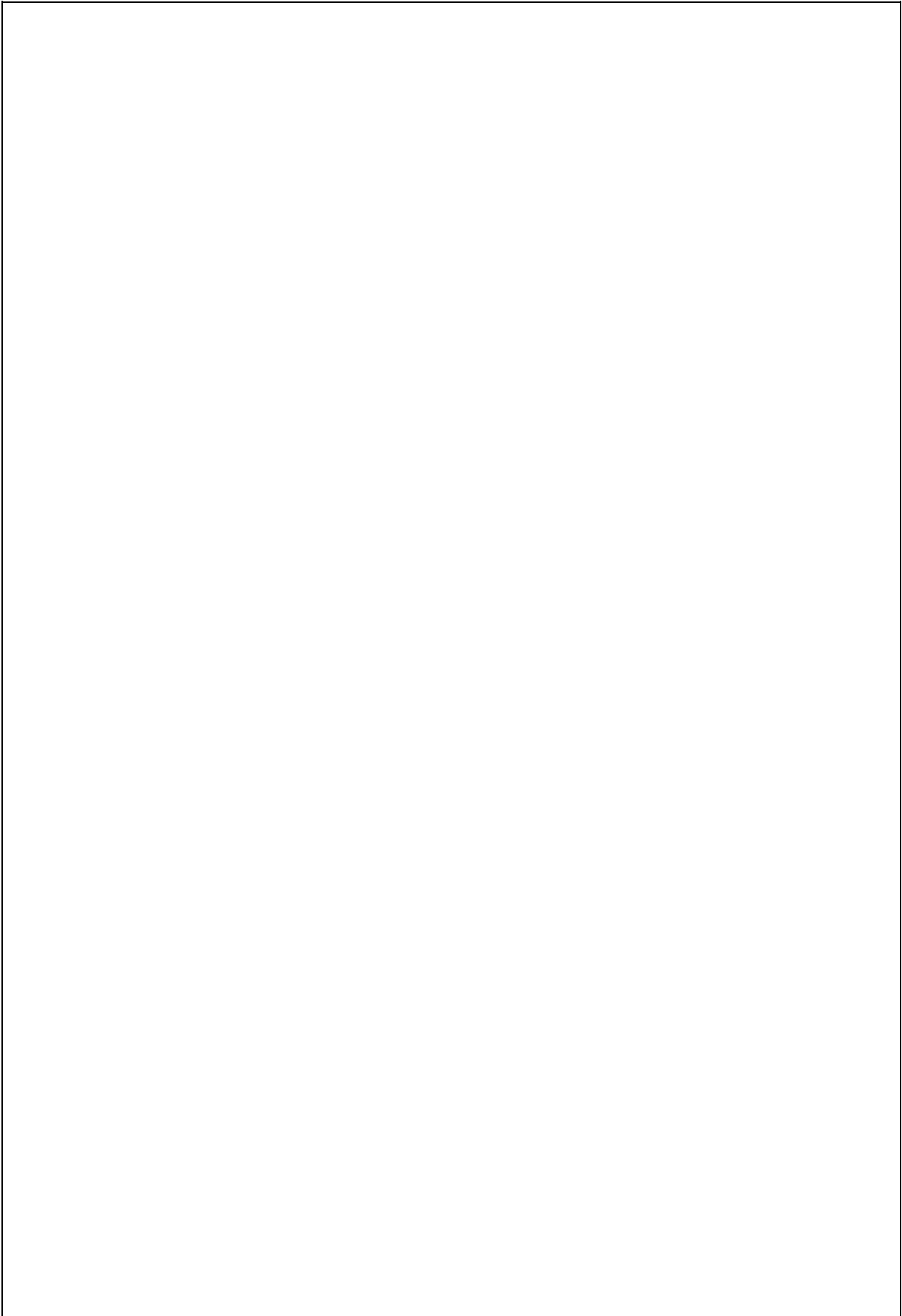
勤務先(会社)名 _____

所属部課・役職名 _____

職務経験等を詳しく記入してください。(裏面もご利用ください)

※別紙を添付したい場合には、別紙参照と記載の上、添付することも可。

その際、別紙にも氏名を記載すること。



<お問い合わせ先>

法政大学大学院政策創造研究科入学試験に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
なお、下記のとおり、授業実施の有無により受付時間に変更となります。
最新の受付時間については、本研究科ホームページにてご確認ください。

法政大学大学院事務部大学院課 政策創造研究科担当
〒102-0073

東京都千代田区九段北 3-3-9

Tel : 03-3264-6630 Fax : 03-3264-3990

E-mail : rpd-j@hosei.ac.jp

受付時間（授業期間）

（平日）9:00～11:30、12:30～18:40

（土曜日）9:00～11:20、12:20～17:00

受付時間（授業期間外）

（平日）9:00～11:30、12:30～16:00

※日曜・祝祭日、夏季一斉休業期間および冬季一斉休業期間については窓口業務を行いません。
恐れ入りますが電話不通の際には E-mail もしくは Fax にてお問い合わせをお願いいたします。

■市ヶ谷キャンパス案内

